

2024年のイセエビ漁業について

1 2024年のイセエビ漁獲量とCPUE

図1に茨城県におけるイセエビ漁獲量をまとめました。2024年9月までの漁獲量は50トンで、前年(54トン)をわずかに下回りました。今年は7月上旬に一時的に水温が下がったこと、9月には相次ぐ台風により操業できない日が続いたことが漁獲量減少の要因と考えられます。一方で、1日1隻当たり漁獲量(CPUE)は前年並みで(図2)、現時点では資源は維持されていると考えられます。

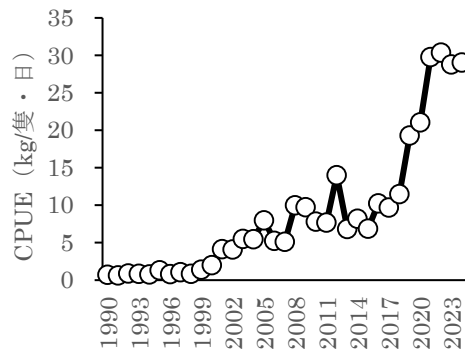
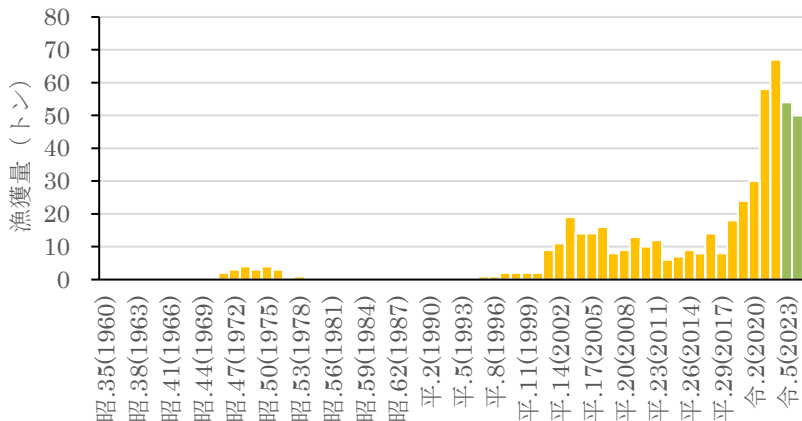


図2 茨城県におけるイセエビ CPUE の推移

図1 茨城県におけるイセエビ漁獲量の推移
2022年までは海面漁業生産統計調査(農林水産省)
2023年、2024年は茨城県水産試験場漁獲管理情報処理システム

2 イセエビの頭胸甲長と成熟度

2024年の市場調査で測定したイセエビの頭胸甲長(目の後ろから頭胸甲の後端までの長さ)を図3に、成熟度の調査結果を図4に示しました。頭胸甲長は70-80mmが主体で、前年の調査とほぼ同じでした。成熟度は7-8月に発眼卵の割合が高く、前年よりもやや成熟が早い傾向がみられました。

来年度も引き続き調査を継続する予定ですので、市場調査の際にはご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。(定着性資源部 多賀)

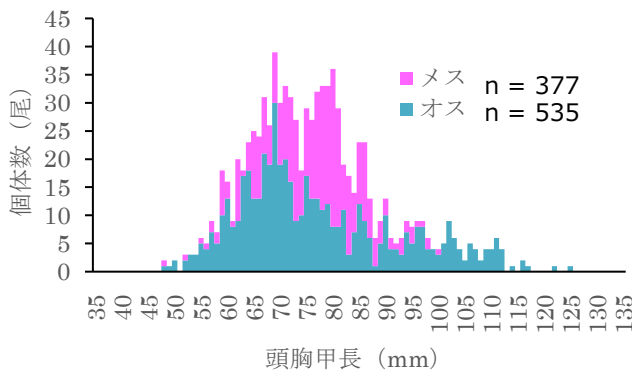


図3 市場調査によるイセエビ頭胸甲長組成

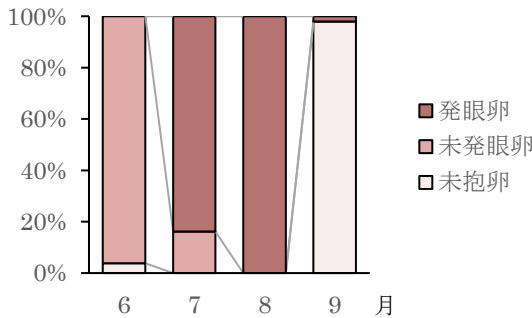


図4 市場調査によるイセエビ月別成熟度

【次回予告】令和6年11月29日発行の水産の窓は「鹿島灘はまぐりの資源状況」を予定しています。

